

予算審査特別委員会総務分科会

- 1 開会日時 令和3年2月17日（水）午前10時45分
- 2 閉会日時 令和3年2月17日（水）午後0時32分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
1 番 永徳 省二君 3 番 佐藤 武君 7 番 大口 浩志君
1 2 番 北川 勝義君 1 6 番 下山 哲司君 1 7 番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
市 長 友實 武則君 副 市 長 前田 正之君
副 市 長 川島 明昌君 総合政策部長 安田 良一君
総 務 部 長 塩見 誠君 財 務 部 長 藤原 義昭君
会 計 管 理 者 中永 光一君 消 防 長 井元 官史君
秘書広報課長 小引 千賀君 政策推進課長 花谷 晋一君
総 務 課 長 小坂 憲広君 暮らし安全課長 岡本 和典君
財 政 課 長 和田美紀子君 管 財 課 長 戸川 邦彦君
税 務 課 長 光田 尚人君 消防総務課長 檜原 秀幸君
通信指令室長 納所 浩典君
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 元宗 昭二君 主 事 松尾 康平君
- 8 審査又は調査事件について
1) 議第 9 号 令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）の総務常任委員会所管部分
2) 議第16号 令和3年度赤磐市一般会計予算の総務常任委員会所管部分
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時45分 開会

○分科会委員長（佐藤 武君） それでは、ただいまから予算審査特別委員会総務分科会を開会いたします。

これから分科会の審査に入ります。

当分科会の審査対象は、議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）の総務常任委員会所管部分及び議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算の総務常任委員会所管部分の2件についてであります。

それでは、議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）の総務常任委員会所管部分についてを議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いしたいと思います。

なお、説明は、補正予算書及び説明資料のページ番号を言ってから行うようお願いをしたいと思います。

それでは、お願いいたします。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 令和2年度一般会計補正予算（第9号）について、政策推進課では、総合政策部資料1ページから2ページに記載しておりますが、提案説明等で申し上げたとおりでございまして、補足説明はございません。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） これから質疑を受けたいと思います。

質疑はありませんか。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 全部のバスのことの受託事業収入の話なんですけど、補正で増やしていっとるということは、これは要するに歳入が減ったから市費を入れたということの結論なんじゃ。これは結果的にいうたら、もう分かり切っとるけん、乗る人が少なかったというか、それとも当初の乗る人の人口の予算計上が甘かったんか、甘かったというたら言い方がちょっと失礼な話なんじゃけど、どう言うてええんかな。そこらをちょっと分かったら簡略に説明ください。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員御質問のバスの使用料につきましては、このコロナウイルス感染症が少し拡大している中で、利用者が見込みより少なかったということで計上させていただきました。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 今、言われたことじゃろうけど、減少したのは。結果的にはコロナウイルスへ感染しちやおえんからというので、できたらバスに乗るとか、電車に乗るのも控えとるわな、皆。自分の車で行くというのもあったりする。無理をしてでも行くという。そういう意味のことで、そう解釈しときゃあええんですね。

○政策推進課長（花谷晋一君） はい。

○委員（北川勝義君） 分かりました。よろしいです。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかに質疑もないようですので……。

○議会事務局長（元宗昭二君） 委員長、まだ次、あります。総務部が。

○分科会委員長（佐藤 武君） あ、総務、ごめんなさい。

説明を。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） 総務課から補足説明をさせていただきます。

総務部資料につきましては、1ページになります。補正予算書は18、19ページ、補正予算説明資料につきましては4ページ、5ページになります。

まず、選挙費委託金でございます。

事業費確定によりまして、岡山県知事選挙に係る委託金を減額するものでございます。

先ほどが歳入でございます。続きまして、歳出の予算になります。

総務部資料、同じく1ページ、補正予算書24、25ページ、説明資料は8、9ページになります。

こちら、決算見込みによりまして、普通旅費それから使用料及び賃借料の減額となっております。

続いて、同じく総務部資料1ページ、補正予算書26、27ページになります。説明資料は、8、9ページでございます。

県知事選挙に係ります事業費確定のための減額、こちらを計上させていただいております。

総務課からは以上でございます。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） くらし安全課分の補正の説明でございますが、議場で説明させていただいたとおりで、補足の説明はございません。

以上です。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 藤原部長。

○財務部長（藤原義昭君） 資料は財務部の資料の1ページから3ページとなっております。

本会議での説明のとおりでございまして、補足説明はございません。

以上です。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）についてでございます。

歳入から説明をさせていただきたいと思います。

予算書20ページから21ページ、補正予算説明資料4ページから5ページを御覧ください。

施設整備事業730万円減額、一般単独事業360万円減額、過疎対策事業債を530万円減額するものでございます。

歳出につきましては、予算書34ページから35ページ、補正予算説明資料14ページから15ページを御覧ください。

普通旅費94万円の減額、救命士教育負担金200万円減額、消防自動車補助金は60万7,000円減額するものでございます。

以上でございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

先ほど総合政策部の質疑を終わってしまったんですが、ただいま説明がありました総務、財務、消防について質疑があればお願いします。

○委員（北川勝義君） よろしいかな。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 直接予算のことじゃないんですけど、県知事選挙の委託金の減額というて、確定したということで減額、これはよく分かるんですけど、これは選挙に関わることで聞かれたんで、ちょっと確認をしたいんですけど。

期日前投票というのがあります。立会者が、期日前投票はどうなつとんですか。期日前で来たら、もうできたというのが分かるんですか。どんなんですか。投票率のことをちょっと聞きかけたということで、どんなかなと思うて。100人おるとしても、期日前で10人しとったら90人でしょう、実際のことを言うたら。じゃけど、その10人は分からんから、期日前で入れてなかったりするから分からん、そのことを聞かれたりしたんですけど、どんなんでしょうか。要するに、もっと簡単に言ったら、受付の名簿、閲覧する、台帳の中へ、期日前なら期日前とチェックしとりゃあ、もう来たというのが分かるんじゃないけど、分からんようにしとるでしょ

う、たしか、と思うんです。これは何か意図があるのかなと思うて。立会の人やこうは……。

○委員（下山哲司君） 書いてもらうから。

○分科会委員長（佐藤 武君） チェックしてます。

○委員（下山哲司君） リアルタイムで分かるようになってる。

○委員（北川勝義君） リアルタイムで分かるんか。

○分科会委員長（佐藤 武君） チェックしてます。

○委員（北川勝義君） いや、ちょっと待って。

投票率のことに関連して、今、投票率が悪いんで、今回も赤磐市は市長選挙、市議選があるから、投票率、結構出るんかもしれんのじゃけど、投票率が20%とか30%で投票率出たというたら、何かどうもおかしいような。そりゃあ仕方ねえんじやけど、そこらのときに立会しよう方もどんなんかなというて分かりゃあええんじやけど、今、期日前のが分かれば、簡単でええ、話せる範囲で話してください。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） 期日前投票につきましては、本庁と各支所で現在行っております。オンラインで結んで、システムを使って、来られたらそこでチェックを入れて、ダブって例えばよそでも2回できないような格好で、もう即時分かるようになっております。

投票日につきましては、当日の名簿、こちらを最後打ち出して、期日前済みというような格好で分かるようにしております。

ちなみにですが、岡山県知事選挙の投票率につきましては40.19%で、うち期日前が18.25%となっております。期日前につきましても、年々増加傾向にあります。コロナの関係もありまして、今回も期日前は伸びているような状況でございます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） ありがとうございます。

大体分かったんじやけど、再度確認させてください。

期日前選挙がリアルタイムで、それまで入って、台帳へチェックするのは、これはもう頭の中で分かる、不在者投票と同じ、分かりょんじやけど。そうじゃなくて、入れるとき、10時の報告とか、何時の報告、やりますが。そのときに、しとるとこは全部それが入っとんかということ言いたかった。期日前は期日前でパーセントを入れて、今ここへ来たときのパーセントだけ、どっちか、含めて、不在者投票というたら、最後のときの時間の、例えば、僕は選挙のときには最終の6時頃のとくに不在者投票を1発入れて、それから見込みを入れるとかというてやりようたんです。だから、分かるかな、今、意図が。リアルじゃ出てこんのんじやねんか、そこを聞きたかったわけ。入ってきとんじやったら、最初から、今、期日前が18%しとり

やあ18%、これはもう10時の時点で20%しとりゃあ38%と出るのか、20%しか出ずに、それで5時頃とか6時頃の第3回目ぐらいのときに入れるんか、どうなっとんかなという、ちょっとそれを聞いたかったんです。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） 期日前につきましては、前日でもうパーセントは決まっております。当日の定時、その分については、投票所だけ入ってきます。それと合わせて現在何%というような表示に……。

○委員（北川勝義君） 含まれとるかというのを聞いただけ。

○分科会委員長（佐藤 武君） 期日前が。

○総務課長（小坂憲広君） すいません、失礼しました。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） 当日につきましては、投票所だけの投票率、最後に期日前が幾らというような、最後合わせて。すみません、失礼いたしました。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 選管が投票行きましょう、投票行きましょうというて増やすのに、期日前が増えとつても、僕らも少ないと思うて、最後のときは分かるんじゃけど、それが今、リアルに出るんじゃねえかと、何ぼか最初に入れてくれとつたら、そりゃあ法律じゃからおえんのんじゃろうけど、分かりやすいなと思うて。何か聞きようたら、4割しか来てねえのに、それで何か決めたというたら、過半数もないのにというような気もしたりしたから、ちょっと思うただけで。これはたまたま後援活動しようつたら、そういう話をどうなっとんならというて聞かれたから、今日聞いてみようかなと今、思うただけの話で。

分かりました。それからこの選挙活動、この金額のことはえかったんですけど、減額しとんじゃけど、確定じゃろうけど。大体、これはどのくらいを基に当初をこしらえとんですか。要る経費というの。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） 当初予算につきましては、前回のものを参考に計上しております。あとは、職員手当とかも前回並みと。いずれにせよ、前回並みを参考に計上はいたしております。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） くどいようじゃけど、結果的にいうたら、400万円下がるということ

は、2割計画から少なくなるとのわけじゃろう。ということは、少なくしとけという予算のことを言よんじゃねんじゃけど、やっぱり投票率がもう悪くなってしまおうということじゃ、もう。これはもう歩みが止まらんというんか、これは職員にどうこう言うても仕方ねえことじゃけど。

分かりました。答弁はよろしいです。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） それでは、ほかに質疑もないようですので、議第9号についての質疑を終わります。

続きまして、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算の総務常任委員会所管部分を議題とし、これから審査を行います。

執行部からの補足説明がありましたらお願いをしたいと思います。

なお、説明は予算書及び説明資料のページ番号を言ってから行うようにお願いします。

それでは、執行部のほう、よろしく申し上げます。

○議会事務局長（元宗昭二君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 元宗局長。

○議会事務局長（元宗昭二君） それでは、議会費でございます。

予算書につきましては、58ページからになります。説明資料につきましては、20ページ、21ページになりますけれども、補足説明はございません。よろしく願いいたします。

○秘書広報課長（小引千賀君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小引課長。

○秘書広報課長（小引千賀君） それでは、秘書広報課分につきまして補足説明をさせていただきます。

予算書と予算説明資料のほか、総合政策部資料は3ページを御覧ください。

主に総合政策部資料を使用して、主なもののみ補足説明させていただきます。

まず、歳出ですが、資料の中ほど下にございます2款総務費、1項総務管理費、2目文書広報費でございます。

予算書は66ページから67ページ、予算説明資料は22ページから23ページとなります。

予算額は2,761万9,000円で、前年比5%の増額となっております。その主な理由は、ホームページ管理委託料に含まれるページの作成、更新をするためのシステムを利用する費用でございます。

次に、2款総務費、1項総務管理費、6目企画費のうち、シティプロモーション事業につきましては、予算書は72から75ページ、予算説明資料は28から29ページを御覧ください。

予算額が576万円で、前年度比47.2%の減額となっております。減額の主な理由は、骨格予

算編成方針によりまして、補正予算計上で間に合う事業を計上しなかったためでございます。

秘書広報課からの補足説明は以上です。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 引き続き、政策推進課が計上しております予算のうち、提案説明や質疑において説明させていただきましたものを除きまして、令和2年度当初予算額と大きく変更しているものにつきまして補足説明をさせていただきます。

総合政策部資料は4ページから7ページとなります。

まず、歳入予算につきましては、予算書24ページから57ページ、説明資料は6ページから19ページとなります。

総合政策部資料4ページを御覧いただけたらと思います。

4ページ中ほどにございます16款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金の2つ目の補助金で記載しております地域少子化対策重点推進交付金に640万円を計上させていただいております。

予算書は32ページから33ページ、説明資料は8ページから9ページとなっております。

この補助金は、質疑で御質問いただきまして、お答えさせていただきました、歳出予算に新規に計上させていただいております結婚新生活支援事業に充当する補助金となっております。補助率は3分の2となっております。

引き続きまして、歳出予算の説明に移らせていただきます。

予算書は72ページから77ページ、予算説明資料は26ページから31ページとなります。

総合政策部資料6ページを御覧いただけたらと思います。

2款総務費、1項総務管理費、6目企画費の上から2つ目でございます国際交流事業につきましては33万2,000円、前年度比としまして記載はございませんが176万8,000円の減額を計上させていただきました。主な減額の要因としましては、新型コロナウイルス感染症が現在も感染拡大しておりますので、中学生の海外研修事業を中止させていただくことにしております。

次に、総合政策部資料の7ページを御覧いただけたらと思います。

予算書96ページから99ページ、予算説明資料は38ページから41ページとなっております。

5項統計調査費、2目諸統計調査費につきましては165万4,000円、前年度比1,795万5,000円の減額を予定しております。主な要因といたしましては、令和2年度には国勢調査がありましたので大きな減額となっております。

以上、政策推進課が計上している予算の補足説明となります。

以上で総合政策部の説明を終わります。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） 続きまして、総務部からの説明になります。

まず、総務課でございます。

総務費補助金になります。

総務部資料 2 ページ、それから予算書32、33ページ、予算説明資料は 8、9 ページになります。

こちらのほうは、マイナンバーカードに係ります関連事務の委任等に係る交付金の予算を計上しております。

続きまして、総務部資料、同じく 2 ページ、予算書44、45ページ、予算説明資料、同じく 8、9 ページになります。

選挙費委託金になります。衆議院議員選挙、最高裁判所裁判官国民審査に係る経費を計上いたしております。

続きまして、歳出の予算になります。

総務部資料は 3 ページ、予算書は60、61ページ、予算説明資料は22、23ページになります。

職員人件費になってまいります。総務課管理の職員人件費でございます。来年度休業見込みの職員給与を見込みまして、昨年比1,481万1,000円の減額ということで計上いたしております。

続きまして、住民情報システム運営管理事業、総務部資料は 3 ページ、予算書78、79、予算説明資料は32、33ページになります。

こちらですが、マイナンバーカードに係る関連事務の委任等に係る交付金の予算を計上いたしております。

続いて、総務部資料、同じく 3 ページになります。予算書94、95ページ、予算説明資料38、39ページになります。

衆議院議員選挙の選挙費でございます。今年度、任期満了となります衆議院議員選挙、それから最高裁判所裁判官国民審査に係る経費を計上いたしております。

主なものについて補足説明をさせていただきました。

総務課からは以上でございます。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 続きまして、くらし安全課からの補足説明でございます。

総務部資料の 3 ページ、予算書は38、39ページ、説明資料の10ページ、11ページになります。

歳入の①番、総務費補助金でございます。総務費県補助金、このうち子ども見守り防犯カメラ設置事業補助金につきましては、令和 2 年度から令和 4 年度までの年を限られた県の補助金制度でございます。

続きまして、総務部資料の4ページ、歳出の部の②でございます。予算書では68、69ページ、説明資料26、27ページを御覧ください。

FM管理事業では、緊急告知ラジオ200台の購入を予定しております。

続きまして、③番、行政推進費でございますが、予算書80、81ページ、説明資料32、33ページでございます。

こちらにつきましては、行政事務連絡業務委託料等を計上させていただいております。

総務部資料の5ページでございます。

⑦番、防災費でございますが、予算書178、179ページ、説明資料の82、83ページでございます。

こちらにつきましては、災害用の備蓄品、防災マップの作成委託料、それから自主防災組織への活動支援事業の補助金等を計上させていただいております。

総務部からの説明は以上です。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 藤原部長。

○財務部長（藤原義昭君） 財務部資料が4ページから13ページとなります。

1月の委員会と本会議での説明のとおりでございますが、補足説明はございません。

財務部からは以上でございます。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 一般会計予算の歳入の主なものを説明させていただきたいと思っております。

予算書50ページから51ページ、予算説明資料14ページから15ページ。

受託収入は、山陽自動車道救急受託事業収入として、山陽高速自動車道救急業務支弁金の令和2年度実績金額を計上させていただきました。

予算書54ページから55ページ、予算説明資料16ページから17ページの雑入は、岡山県消防防災ヘリコプターの運航に伴う消防本部からの派遣に係る人件費交付金650万円を計上させていただきました。

予算書56ページから57ページ、予算説明資料18ページから19ページの消防債の防災対策事業債は、高機能消防指令センターシステム整備事業で2億3,910万円計上させていただいております。

続きまして、歳出の説明をさせていただきたいと思っております。

予算書170ページから173ページ、予算説明資料82ページから83ページを御覧ください。

9款消防費のうち、5目災害対策費以外が消防本部所管となります。

職員人件費につきましては、82名分の給与、各種手当、共済費を計上しております。

続きまして、予算書174ページから175ページ、予算説明資料は80ページから81ページを御覧ください。

19節の負担金、補助及び交付金は711万8,000円で、主なものは救急救命士養成のための教育をはじめ、病院前救護の質の向上を目的に、観察、評価、処置を適切かつ迅速に対応できる能力を養うために、病院実習における医師の指導料、各種研修へ参加するための負担金や専門的な知識及び技術を習得し、人的消防力の向上を目的に、消防学校へ派遣するための費用でございます。

予算書174ページから177ページ、予算説明資料にあっては82ページから83ページを御覧ください。

19節負担金、補助及び交付金、消防団の活動補助金でございます。消防団員の福利厚生などを目的に、損害補償や退職報償金に係る総合事務組合負担金や団員福祉共済制度掛金を計上しております。

予算書176ページから177ページ、予算説明資料は82ページから83ページを御覧ください。

委託料でございます。高機能消防指令センター更新に係る設計書作成支援業務及びシステム構築に係る管理業務を委託するために636万9,000円を計上するものでございます。

続きまして、備品購入費、18節でございます。消防施設整備計画に基づき、高性能消防指令センターの更新作業を進めております。このシステムは、平成21年9月から運用を開始し、市民の生命、財産を守るための必要不可欠なシステムで、24時間365日、常時運用し、故障でも瞬時も停止することが許されません。メインとサブの2基を備え運用を続けておりますが、12年を迎え、故障のリスクが非常に高くなり、部品の調達が困難になったことから、指令センターの機器を更新し、指令業務を的確に処理し、効率化を図り、災害等の被害を最小限度にとどめ、救急医療の高度化を実現するため、3億1,883万7,000円の事業経費を計上させていただきました。

以上でございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

これで所管の説明が、執行部のほうからありました。

これから質疑に入りたいと思いますけれども、一遍にというのはなかなか範囲が広いので、まず限定していきたいと思います。

まず、予算書7ページ、「第2表債務負担行為」及び8ページの「第3表地方債」について質疑を行いたいと思います。

7ページ、8ページについて質疑がありましたらお願いします。

特にはないですか。債務負担行為ですので。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） それでは、債務負担行為と地方債については質疑を終了いた

します。

続きまして、歳入全般について質疑を受けたいと思います。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） はい。

○委員（北川勝義君） そうじゃなくて、部ごとにしてくれんか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 部ごとか。

○委員（北川勝義君） 歳入だけのことだけじゃ分らんようになる。総合政策部、総務部…
…。

○分科会委員長（佐藤 武君） 総合政策部から行きますか。

○委員（北川勝義君） いやいや、歳入歳出……。

○分科会委員長（佐藤 武君） 歳入は今説明があった部分ですので、どうしようかな。

○委員（下山哲司君） 一括で全部行けばええが、順番に、誰でも。

○分科会委員長（佐藤 武君） 全部行きますか、もうまとめて。

○議会事務局長（元宗昭二君） できたらまとめて部でやるとか、あるいは款で行くかしていただかないと、後の取りまとめが、申し訳ございません。

○委員（下山哲司君） 今説明があった順番に行きやあええが。

○委員（北川勝義君） 順番に、部ごとで。

○分科会委員長（佐藤 武君） 分かりました。

総合政策部の歳入歳出か、いいですか。

主に資料に基づいての質疑が分かりやすいと思いますので、予算書も含めて確認をしながら質疑をお願いします。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 3ページのシティプロモーション事業、このときいろいろやられたんじゃけど、コロナの関係で中止になったり延期になったりしたのが多かったと思うんじゃけど。先ほどから全体の市長の所信表明、いろいろ聞きようたら、コロナのこともあるんじゃけど、なるべくできたら推進事業はしていくということで全体の流れは聞かせていただいとんですけど、またコロナが、ワクチンを接種して大分ええげになると思うんじゃけど、人を集めることに不安感というのがいろいろあると思うんで、このことについてはそういうのも踏まえて予算を組んどんか。それとも、前もって減らすというのはちょっと反対なんじゃけど、減らすようにしとんか。ちょっとそこら分かって、どうしてもやらにゃあおえん事業というのはどういうことをやるというのは、分かりやあもう少しこれを詳しくしていただきたい。

それから、続けて言やあええですか。

○分科会委員長（佐藤 武君） はい、どうぞ。

○委員（北川勝義君） それから、4ページの中の、直接はちょっと話が違うかもしれん、一番下の移住・定住のところで、空き家のというたら、私が住んでる吉井町なんですけど、吉井町も本当に、下山委員も住まれています。非常に空き家が多くなっただけです。いろいろ買ってもろうた。いろいろこの事業を、改修したけえ、いろいろ利用してもらおう、これは大変ええことじゃと思うて感謝しとんなんですけど。しかしながら、家だけあって、もう草ぼうぼうになって、後の管理ができん、猫が入るとかというのが、大変困るとというのがあるんです。

それで、ネオポリスももちろん、前、永徳委員が言ようたんかな。持ち主が分からん、木が生えとるとか、管理もできにくいというのがやっぱりある。勝手に他人のとはできんでしょう。草を刈るのも、勝手に人のとこの財産というたらおかしいけど、何かいろいろあるんで。

その中で、直接じゃねえ、ここのとこのやっぱりこういう推進していくというんか、空き家を改修するのはええんじゃ、それは感謝しよんじゃけど。そこの整備というんか、草刈りとか、そういうことができる方法を、何らかのことが、この中には考えられるか、今後を考えていかれとんかなと思うて。それがもし分かれば教えてください。なかったら今、こう考えとるで結構です。

それから、5ページ、6ページに関しての、要するにバスです。

路線バスとか市民バスとか、いろいろなバスの中で、これは先ほども2年度最終的に総括で減額されたと思うんじゃけど、歳入は単市で見てやったと思うんですけど、これ、同じような予算のつけ方しとんか、どんなか。これも、もうあまり詳しく言うてくれというんじゃねんですけど、本会議のときもちょっと言うたんですけど、路線をとというのはおえんのじゃけど、かえって割愛して公共交通会議があるんじゃけど、今まで10行きようたところが、100人乗りようたのが、もう10行きよんじゃけど、30人しか乗らんようになったとことか。逆に、5しか行かなんだとことか、5行きようて、30人しか乗らん計画じゃったのが50人乗るような、例えばネオポリスの中とか、特に僕は吉井でいうたら、過疎地域のとこの、要は増やすとかそういうのは考えて、公共交通会議があるから、そう簡単にはできとねえと思うんじゃけど。そういうことも今後考えられて入れられとんか、分かればそれを教えてください。

以上です。

○秘書広報課長（小引千賀君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小引課長。

○秘書広報課長（小引千賀君） シティプロモーション事業について回答させていただきます。

まず、コロナ禍において、イベントの開催については慎重さも必要だとは思いますが、工夫をしながら実施をするということも必要だと思っております。コロナを踏まえて、この開催の状況をどのようにさせていただくかということは、今後の感染の拡大状況も十分検討する必要はあるかと思うんですけども、今現在、あかいわモモちゃんのイベントにつきましては、ウ

ウェブでのイベントの開催も各地で開催されておりますし、あと県外のイベントにつきましても、非常事態宣言がどの程度まで出されているかというところも踏まえながら、参加するか、しないかというところは検討する予定で予算も組ませていただいております。

広報大使が出演するようなイベントにつきましても、開催の方向で検討させていただくんですが、これも先ほど申し上げましたとおり、感染拡大の多い地域からお客様を呼ぶようなものについては慎重な考え方も必要かと思っておりますし、そうでないものについては開催の仕方ですとか、会場ですとか、そういったものを工夫しながら開催したいと考えております。

以上です。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） まず1点目が、バスについてお答えします。

バスの歳出予算につきましては、もう既に債務負担行為をさせていただいている予算でございます。それに該当する令和3年度分につきまして編成をさせていただきました。

歳入予算につきましては、令和元年度実績を基に、令和2年度の今の使用状況も踏まえまして、利用量を約4割減から、路線によっては1割減で見込ませていただいているという状況で予算編成をさせていただいております。

引き続きまして、空き家が多くなっているという状況の御質問であったと思います。

現在、予算編成しておりますのは、空き家情報バンクに登録のある空き家の改修費用だけでございまして、空き家が多くなってきているというのは認識をしております。ですので、空き家を減らすように、何か手だてを打ちたいというふうな研究はしておるんですが、まだ予算に具体化できていないという状況ではございます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員、よろしいですか。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） ありがとうございます。

何でこんなシティプロモーションのことを聞いたというのは、皆、物すげえ期待しとったのにできなんだからという、これはもう市長が悪いわけじゃない、議員が悪い、職員が悪いわけでは、コロナ禍のことじゃから致し方ねんじゃけど。

さっきも、レディオモモの1周年の熊山英国庭園でやるのを、3日ほど前も熊山英国庭園に何人かが入って、ちょっと子供さんらがおられた、家族連れがおられた。せっかくあれじゃたら、本当何かちょっとでも見せてあげりゃあええなと思うて、利用せんのはもったいないという気持ちがあったんで、あえて聞かせてもらよんですけど。ウェブでやるのもええけど、何かちょっと違うんかな。やっぱり目で見て、やっとなるなというて、赤磐が頑張りようるなとい

うのを言いたかったんで。ぜひ、今後のことはお願いとして、質問というよりお願いなんじゃけど、やるときにウェブもええんじゃけど、ちょっと収束してきたら、やり方をちょっと、ミニでもええ、広げてやるのでも、何かちょっと行政が前へ出て引っ張っちゃうようなことをやっていただきゃあ。

僕もよう言われているいろいろやりようた。悪いことばああつてはおえんがな、赤磐と言われる。そうじゃねえ、ええこともやりよんじゃというのをちょっと今後発信してもらいたいなと思うたんで、ちょっと言いたかった。これについては、頑張っていたきたいと思うんで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、移住・定住というのは、どこも今、吉井に行っても、ほんまに空き家が非常に多くなつて、勝手に人の空き家のところを掃除するというのができんですが。シルバーとかがしてくれようたら、やっぱり単年のときはするんじゃけど、だんだんお金が、何年もたつたら払えんようになって、これはこんなことじゃ、消防には直接関係ねえかもしれん。結果的にはそこへあつたんで、人が入つたりして火をつけとつたり、ぼやじゃねんじゃけど、いろいろなことになるんです。それは、草がなかつて、きれいになつたら、これはもう皆さん、職員や皆、市長も集めて、掃除してもろうたら、草を刈つてきれいになつたら、そこにはごみは置かんのです。草を刈つたら、そこはもうごみだらけです、はっきり言うて。草が大きゆうなりやなるほど、もう皆、物すげえ持つてくるんで、そうしたら火もつく、火事というたらおかしいけど、いろいろあるんで、安全もあるんで。そういうことも考へて、赤磐独自でこのことの空き家バンクをしてくれよんのは物すごい感謝しとんじゃけど、そういうことも今後考へていただきえなと、市長、私はそう思うとんで。そこらのところはどいうやり方があるか分からんのじゃけど、ちょっとお願ひしたいと思つたんです。頑張つてください。

それから、5ページのところで、元年度の実績で2年度は40%減じゃつたんじゃけど、僕が聞きたかつたのは、公共交通会議があるんじゃけど、そつちのほうのバスの利用の多くなつたとこと低くなつたとこ、そういう調査も今後してもろうて、そつちにこれ、ちいたあこの予算が踏まえとんかなと思つて、今回思つたんじゃけど。公共交通会議のこともあるんじゃろうけど、どなんかな。これを再度確認で、これだけ特に、そういうことが予算に含まれとんか、全然、今言うた元年度の実績、2年度の40%減だけでやとんかなと思つて。どなんかな。一律にしとんか、ちょっと分かれば教へてください、この件について。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 市営バスの件でございますが、山陽地域で今、令和2年度からアンケート調査を行いまして、路線組替えの作業を行つておるところでございます。その路線組替えに対する路線変更経費は幾らか組ませていただいている状況でございます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） よろしいですか、北川委員。

○委員（北川勝義君） はい、よろしい。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかに。

○分科会副委員長（大口浩志君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○分科会副委員長（大口浩志君） 先ほどの同僚議員の御質問ともしかしたらダブるのかなとも思うんですが。

説明資料でしたら28、29、それと今日お配りいただいた総合政策部の資料でいったら6ページ、7ページで、使い勝手という趣旨でお尋ねをしますが。

この中に移住・定住促進事業で、1枚はぐったら結婚支援事業というのがございますが、移住・定住促進事業のほうでいえば、空き家改修補助金100万円が2件、それから移住支援金100万円が2件というふうなくくりになっておったり、結婚支援事業のほうは、説明書の29ページを見ると、家賃補助などという表現を使っていたとるんですが、例えば1件の新婚家庭、もしくは結婚後2年間というような説明が本会議であったかと思うんですが、これらを全て1組の方が利用できるのかどうか、というのが改修に至るまでよりも、立派な家ですけど家財道具一式が山ほどあって、なかなか改修のところまでいけないというようなお声は市民のほうからも届いてるんだと思いますけども、その辺に向けての使い勝手という部分でいざばどのように考えとけばよろしいんでしょうか。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） まず、1点目です。

移住・定住の補助金と結婚支援事業の補助金を同時に同じ人が使えるかということでございますが、ちょっと説明資料29ページの一番下の段を見ていただきますと、一番右の説明欄、主なものの中へ、新婚世帯家賃補助金と結婚新生活支援事業ということで240万円と160万円の計上がございます。この補助金2つは、同時に受けることができない仕組みになっております。どちらか1つの補助を受けていると、一方が受けられないという仕組みになっております。

対して、移住・定住の、先ほど言われました空き家対策補助金につきましては、家の改修費ですので、空き家情報バンクに登録のある物件を買われて、やっぱり改修するという条件に合えば、それは改修費として使えます。

もう1件、移住支援金は、これはちょっと特殊なものでございまして、東京圏から赤磐市へ入ってこられるときに、赤磐市内の企業がもう既に登録をしてあって、東京からこういう人材を引っ張ってきたいという登録をしていただいて、その会社はその雇用をしたときに、単身であれば60万円、2人以上の世帯であれば100万円が出るものでございまして、これはものが少し違ったような支援金になります。したがって、組合せによって受けられるものと全く受

けられないものというのがあることを御認識いただければと思います。

次に、空き家につきまして、家財道具があつて、なかなか空き家の取引というか、そこへつながないってということにつきましては、やはり空き家相談会とかをさせていただく中で、どうしてもそういうお話は出てまいるというのは承知しております。できましたら、そういう部分について、先ほどちょっと同じような答弁をさせていただいたんですが、空き家を流通させる仕組みとして、そういうところに着手したいなというふうな研究をしておりますが、予算編成が骨格予算ということでございまして、新規の事業はなるべく計上しないということになっておりましたので、そこについては計上いたしてないという状況ではございます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○分科会副委員長（大口浩志君） 趣旨は多分、十分御理解いただけたらと思うんですが、ちょっと確認なんですけど、例えば空き家改修補助金は、今言ったおうちのいわゆる大型物件の片づけというか、たんすだとかいろんなものがあると思いますが、片づけをするっていうのよりは、例えば水回りを直すというほうにしかこれは使えないという理解のほうがよろしいんですか。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 空き家改修補助金につきましては、もう建物の基本的な部分の改修にしか現在は使えないという状況になっております。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） よろしいか。

○分科会副委員長（大口浩志君） はい、結構です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 総合政策部に関わる予算についての質疑がほかにありますか。

大口委員。

○分科会副委員長（大口浩志君） 予算説明資料では28ページで、026と番号が打ってある政策推進課のところで、アンケート調査委託料っていうのがあると思うんですけど、アンケート調査は、過去にもいろんなところでいろんな趣旨でしてあると思いますし、アンケートの問かけがいつも同じとは限らないですけども、例えば15年前のアンケート、10年前のアンケート、5年前のアンケート、今回やるアンケートの比較ができるようなことにはなるんでしょうか。なかなかアンケートの問かけがそれぞれ時期によって違うかなとは想像するんですけど、そういったことは現実的にはなかなか難しいんでしょうか。要するに、住民ニーズの変化がそれで見とれるのかなというふうに想像するんですが。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） アンケート項目について、基本的な項目は同じ項目が、例えば5年前、10年前であればございます。ただ、20年前というのは全て把握できとるわけではございません。基本的な項目は同じですので、そういうものは集計して、今でも比較を、どういふふうに動いていってるかという、満足度などを調査しているという状況です。

あと、アンケートにつきましては、毎年、基本的には取らせていただいておりますので、そのときそのときに追加する項目というのが出るものもございます。そういったものは、もう1回限りというものもございますが、基本的には類似した項目でアンケートをしておりますので、追うことが可能かと思えます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） なければ、総合政策部に関わる歳入歳出予算の質疑を終わりたいと思います。

ここに資料はないんですけども、議会費をちょっと先に行きたいと思います。

議会費、予算書の58から61ページになります。

この議会費についての質疑があればお願いします。

ないですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） それじゃあ、議会費についてはなしということで終了いたします。

次に、総務部関係の令和3年度の予算についての歳入歳出分についての質疑をお願いしたいと思います。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 個人番号カードの交付事業の補助金でやることの、何件見越しとんですか、計画。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） 個人番号の交付事業の補助金でございます。歳出には通知カード・個人番号関連事業事務委任交付金というものがございます。こちらの内容なんですけど、全国……。

○委員（北川勝義君） ちょっと。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 何人するのを見とるか、数だけでよろしい。今現在何ぼできとるか、今年度、令和3年度は何人にするかだけで結構です。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） 12月31日現在のデータしか持っておりませんが、その時点では20.44%の交付の率でございます。目標というのは、ちょっと今すぐお答えしかねるんですが……。

○委員（北川勝義君） 今年度は何ぼか。

○総務課長（小坂憲広君） すいません。この予算なんですけど、これは全国で普及啓発に係った経費の割が市に来ております。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） そんなことは、国が指定しょんじゃ、分かっとなんじゃけど、違う。やっぱり何%に、今、20.44%じゃけど、これをもう10%増やすんじゃとか、15%、どのくらいにするのかというて。例えばでいうたら5,000人おるんじゃと、20.4%、令和3年度は1,000人増やすんじゃとかという、ちょっとそれを聞きたかっただけです。そう難しゅう言よんじやうて、何人ぐらい予定しとんかというのを言いたかっただけです。分からなんだから結構ですけど、パーセントが分かったら。何か根拠がなかつたら、そりやできんでしょう、それを聞きたいんです。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） 目標というのは、直接、数はちょっと設定できておりません。普及啓発によりまして、より多くの方に持っていただくというだけでございます。具体的な数字は持っておりません。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員、よろしいか。

○委員（北川勝義君） いやいや、ちょっと。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） もうよろしいけど、予算立てをするんじやったら、何ぼじゃというのがなかつたらできんと思うたんで。じゃから、執行部のほうじやったら、考え方でいうたら、約1,000人にしたいんじやというのの中へ、予算上は1,500人分の予算があっても、1,000人分やりたいというのがある。そういうのをせなんたら、いつまでたっても、国から来ただけでやるんじやったら、これ、はっきり言うて皆番号にしたいわけじゃろ、国は、全員に。当分できんが。やっても、100%へ持っていくというの、目標は100%じゃ、そりやあ分

かり切つとることじゃけど。だけど、令和3年度の予算については、この国から来た3,100万円の中には約500人分は踏まえておりますよというのを、ちょっとそれを聞いたかったんで、今後、そういうのも今日は言えれんのかもしれんけど、そういうことは考えとると思うんじやけど、やっぱり普及していくべきじやと思うとるから、あえて言わせてもらよんで。今後、また分かったら教えていただきゃ結構で、今日どうこうじゃねんです。ただ、もう分からんと言われたらちょっと分からんなど。

以上でよろしいです。

○分科会委員長（佐藤 武君） すいません、関連でいいですか。

〔委員長交代〕

○分科会副委員長（大口浩志君） 佐藤委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 市民の方々も当然なんですけれども、公務員の方については積極的に加入をします。議員もですけど、職員の方の加入というか、それは積極的に進んでいるんでしょうか。

○総務課長（小坂憲広君） 副委員長。

○分科会副委員長（大口浩志君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） 職員にも持つようにという呼びかけは、総務からしておる状況でございます。ただ、強要というのがちょっと難しいところなんですけど、積極的に呼びかけはしているところでございます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） じゃあ、かわります。

〔委員長交代〕

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにございませんか。

○分科会副委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○分科会副委員長（大口浩志君） 今日配られたやつの4ページ、一番下のところに消費生活推進事業という中で、消費生活相談員報酬、そのほかざらっと並んどるところがあるんですけど、このコロナのことも含めて、新卒の詐欺ですとか、いろんなことが出ているのかなど。

先日も、私のところへも、メールを使った、もしかしてこれはやばいなというようなのが来出しました。もう、初めて聞く案件だったし、そういった専門家の方々に聞きましたけど、これは初めて見ましたねというような内容のものもあって、新たなものがたくさんこれから出てくるのかなという部分で、対前年度比で幾らか増えてるんですが、市民の結局は財産を守るという視点から、相談員さんのいわゆる稼働率という表現がいいのかどう分らないですけども、だんだん仕事が、警察とのリンクもあるとは思いますが、負担も増えておるし、攻める詐欺防止的なのという観点からいうと、マンパワーっていう意味ではいかがなんでしょうか。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 相談件数でいいますと、実はコロナ禍ということでありまして、御存じのとおり、2階に消費生活センターを設けておりますが、対面での相談件数というのは、昨年度に比べて減っているのが実情ではあります。

ただ、おっしゃいますように、コロナの関係もあって、新卒の詐欺というものも国民生活センターなり、岡山県の消費生活センター等から、こういった詐欺が増えてきているので、注意喚起をとということで通知は来ております。ただ、こちらの消費生活センターで、そういった詐欺、新たなコロナに関しての詐欺の相談というのがたくさんあるかということ、現実的には当センターでは多く受けているわけではありませんのが現状です。

マンパワーということでいえば、現在は相談員2名の方がほぼ常駐していただいておりますので、それで賄えているのかなど。

ただ、学校等、あるいはその地域へ出向いての出前講座というのが、今年度につきましては積極的にできていないというのが実情ではございます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかに。

永徳委員。

○委員（永徳省二君） 今日の配付された総務部資料の5ページですけれども、防災マップ作成を予定されてると思いますが、まずいつ頃市民に配布されるのかが1点。

それから、もう1点は、市役所周辺が2.2メートル、立川が6.3メートルの浸水だということをお記されるのかどうかをお答えください。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 防災マップの配布時期でございますが、現状では明確にお答えができませんが、これは当然なるべく早く取りまとめをして配布をさせていただきたいというふうには思っております。

今おっしゃったのは、想定最大規模降雨での防災マップというか地図のことだと思いますが、これについては水防法の規定によりまして、必ず掲載をしなければならないことになっておりますので掲載をして、ただ、市役所が何メートル、どこそこが何メートルというようなピンポイントでの掲載にはなりません。図面上での色分けによって判断していただくということになります。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） もう皆さん御存じのように、令和元年10月に、県から市に対して、市

民に至急知らせるようという、恐らく連絡が10月27日にあったんですね。そこからもう1年半経過してるわけですから、ぜひ早めに市民にお知らせさせていただきますように御依頼を申し上げます。

○分科会委員長（佐藤 武君） 答弁は要らないですか。

○委員（永徳省二君） はい、結構です。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにございますか。

○委員（永徳省二君） もう1点。

○分科会委員長（佐藤 武君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 先ほど、北川委員がちょっと話されましたけど、関連してなんですけど、前回の知事選で、桜が丘東区の投票率が、私の記憶では29%やったと思います。恐らく、市内全域でも最低だと思っんです、29%なんていうのは。これをもうちょっと上げられるような施策は、どっか予算に入っているのかどうか、ぜひ御説明ください。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） 選挙啓発の予算で、パンフレットとか成人式にそういう投票の呼びかけを、投票についてのパンフレットとかというのは用意をさせていただいております。あとは、今年度、ちょっとまだ予定なんですけど、レディオモモの番組などで、今年度の選挙になりますけど、投票の呼びかけとかというのはやっていく予定にはしております。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） ということは、特にこの予算書の中に、何ページのどこにどういう施策みたいなのは入ってないんでしょうか。もしあったら教えてください。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） 特には、入っておりませんが、たちまちのことでいいましたら、今年度はそういう予定ということでございます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） なければ、総務部についての質疑を終了したいと思います。

続けて、財務部のほうの質疑を受けたいと思います。

○委員（永徳省二君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 予算説明資料の27ページ、上から4つ目、市役所本庁舎、旧消防本部

庁舎の大規模改修及び支所等の移転云々の予算ですけれども、この予算なんですが、現政権と
いっていいんでしょうか、友實政権のときにはこういう予算で執行されるという予定だと思う
んですけど、今回、来月3月に市長選があつて、友實市長と対抗の人が出る予定で、対抗の方
が一度本庁舎の耐震改修は立ち止まって見直すみたいなことをたしか書いておられるんですけ
ども、そういう場合に、万が一そういう見直しになった場合、この予算が無駄にならないかど
うかを御説明ください。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 現在、令和2年度の補正予算で計上していただいた予算と併せ
て、債務負担行為で令和3年度の事業費についても計上させていただいているところでござい
ます。その内容につきまして、ここへ委託料と工事請負費を計上させていただいております。
当然、執行していきますので、契約行為が伴っていきます。今の仮定の話にはなりませんけれ
ど、実際のところはここで全てを止めるということになると、今契約して前払いしている事業
に対して、現在までかかった費用ないしは契約解除に伴う違約的なものが発生してくるという
のは致し方ない部分になってくるかなと思っています。

以上です。

○委員（永徳省二君） ありがとうございます。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 本庁舎のことは、それは債務負担行為して議決しとんじゃから、議決
のことはやっぱり考えなんだから、議会人として当たり前の常識問題の話じゃからと思うたんで
すけど。明確に答えられたけえ、ええと思うんじゃけど。

今日説明いただいた11ページのところで、今、いろいろ見ておまして、仮設をするときに、
ほかのこの庁舎の熊山とか赤坂の庁舎とか、いろいろ直したりするんですけど、吉井はなか
なかそのときに関係ないようなんじゃけど、今見ようたら、なかなかもう汚くなって、雨漏り
がいくとかひび割れが結構いっとるとかあるんです。これは通常の経費でしょう。例えば、赤
坂支所は855万円とかというたりする、通常の経費だと思うんで、どこまで今度はやるのを、
この調査を全体の本庁舎ができたなら次へ行くという話を市長から聞いとんで、整備の仕方をや
っていくというのを、庁舎を。それはどういうことになっていきよんか、どのくらい進んどん
か。これじゃねんじゃけど、またこの予算に上がると、これは通常予算だけかというのを
聞かせていただきたいのと。

(151字削除)

もう1点は、コロナ禍によって、市民税とか固定資産税の減額とか評価替えになっているんですけど、赤磐市の実際の、ここへ今読ませてもらうた、市民税は0.7%の減額、前年からという、こういう過年度とか前年、書いとんですけど。法人とかが35.1%の減額とか書いてあるんじゃないけど、この減額によって財政調整基金とかいろいろなことを入れたりしていきよんですけど、国からの手当というのは、これはないんですか。特別交付金じゃねえ、交付税じゃねえけど、何かないんですか。僕はちょっと今長いこと、長いことというたら、行政のほうの事務をやってないから分かんないんですけど、何かがあるんじゃないかねえかなと思うたんですけど、どんなかなと思ったというのがあるんです。それが2つ目です。

3つ目、4つ目が、市のたばこ税が、2億3,000万円の減少なんじゃないけど、これ僕、賛成しようような、反対しよう、おかしげなことを言うんですけど、赤磐市の庁舎の中とか、関係の公共施設の中では、たばこを吸う喫煙所はありませんわな、現在。たばこも売ってないですな、自動販売機も。当然でええんじゃないけど、これ、税金も2億円入るんじゃないたら、たばこを吸うほうからいうたら、僕は受動喫煙受けさせられようほうじゃないけど、2億円払うんじゃないけん、ちいたあ確保してくれてもええんじゃないかねえかという話も出たりするんです、これ、ほんまの話が。これはもう入ってきたのは、これはもう全然たばことかそうじゃなしに、健康のこととか、何に使よんですか、この歳入の2億3,000万円は。どこへ持っていきよんかというのを教えてください。

取りあえずそれを教えていただきたいと思います。

以上です。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） それではまず、支所のことにつきまして答弁させていただきます。

支所の在り方につきましては、令和元年度になりますけど調査をさせていただきました。劣化調査も併せてさせていただいた上で、傷んでいるということも認識しております。

支所の在り方につきましては、支所としては残していく。ただ、建物、構造物については、いろいろ総合的に考えさせていただくということで方向性を示させていただいております。この中で、今度は支所の、実際、建物のことも考えていかないといけないと思っています。それについても併せて進めていかせていただこうと考えております。現在のところは、調査が済んでいる状況であります。

支所の費用につきまして、この予算化されている費用につきましては、基本的にはもう各支所で経常経費として計上されているものでございます。

(86字削除)

以上です。

○財政課長（和田美紀子君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 和田課長。

○財政課長（和田美紀子君） コロナでの市民税、ほかの法人税等の減額に対して、国からの手当があるかどうかというお答えに関してまず考え方を述べさせていただきますが、手当という形で積極的にこちらに交付されるという考え方は、現在のところはこれに関してはないと言っていいかと思います。

2年度の補正予算で計上させていただきましたが、減収に対する起債をするような制度を設けて、減収の対応をさせるように国は措置しておりますし、もともと市民税などの根本的な税金の減収に関しましては、地方交付税上は精算を翌年度にされるということにはなっておりますので、減収分に見合う交付税というのは、計算上は国が自らの財源を、今回も報道にもあったのですが、今まで手をつけてなかったような財源を確保して、きちんと地方交付税として交付するというような流れをしっかりと国としては確保しているという考え方になっているというふうに捉えております。

もう1つのたばこ税、たばこをお吸いになる方々のお気持ちを今、言っていて、大変よく分かりますが、たばこ税に関しましては、一般財源でございますので、私のほうからここに確かに使っておりますと申し上げるのは難しいということで、御理解いただきたいと思いません。

○分科会委員長（佐藤 武君） 財務部についてほかに質疑がありますか。

○委員（北川勝義君） よろしいか。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 11ページの通常の予算じゃと思うて、維持管理の経費、分かるんじゃないけど、特に周匝会館にしっかり空調をしてくれたり、いろいろなことを市が積極的に吉井の関係をやっていただきよんで、もちろんMR I もじゃけど、もう本当感謝しとる話なんじゃけど。何か表のほうは割に見やすいんじゃないけど、北の裏から見たら、本当もうカビがいたり、ひびが、2階へ上がるらせん階段やこう、もう折れとるし、庁舎の中で、階段が、やっぱり2階とのあれに亀裂が入るとる、何ぼか直してなっとんで、これはほっといたらおえんと思うんで。

考えたら、これはどこも、赤坂も熊山も吉井も一緒のことなんじゃけど、1階部分は使うとる。2階部分はほとんど使ようらんんじゃない。それで、電気はいきょうる。金が要るかもしれんけど、もう2階は使わんで、会議だけで使うんじゃない。例えばの話じゃけど、使わんのじゃったら、何か遮断、昔は吉井の場合じゃったら、ポールみたいなのを置いて、ロープを置いて、2階へ上がらんようにしようたんです。今はもう、いつの間にかそれがなくなっとんじゃ。もう2階へ上がれるようになったりしとんで。もう何かちょっとでもそういうなのをして、使わ

んところは削減して、直すときに金が要るかもしれんのじゃけど、そうしたら経費も今度は少なくなっていくじゃねえかと思う。

(310字削除)

それから、国が、税金のことじゃけど、交付税算入じゃというて分かりやせんからな。交付税、どこに入ったやこう、もうええ加減な話じゃけえ、もうだまされるだけじゃからあれじゃけど。できたら市長、減収のを見込んで、積極的にほかのところへ手を挙げるといのはおかしいけど、お金を持って帰ることをちょっとしてもらいたいと思うんです。というのは、一般財源、何ぼ今まで基金で財政調整基金をためて一生懸命しとっても、結果的には出ていくだけで、少なくなってくるじゃねえかなというのを、やっぱりじり貧になるということを感じるんで、これをしていただきてえというの。

それから、ちょっと言い方悪いんじゃけど、この中の滞納の話をしたら悪いけど、令和3年度の予算で滞納の回収のが、全体的な話です。どんなんかな、どういう力の入れ方をしとんかな、税務のほうというか。滞納は、こういうコロナ禍じゃあから、あまりきつく言っちゃいけん。きつく言っちゃいけんというたらいけん。どんな考えがあるんですか。分かればちょっとそこだけでも教えてください。

○市長（友實武則君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 減収に対して財源確保を、国やそういった制度をうまく活用して、交付金あるいは補助金を積極的に取ってくるべきということですけども、そのとおりだと思います。これは、全国の自治体が同じように思っております。やはり赤磐市の独自性、あるいは新たな発想、そういったものをしっかり持って取り組まないと、国も交付金や補助金をどこにも出すということではありませんで、事業の特性をよくつかんで、これを積極的に活用するという姿勢で臨みたいと思います。

そのほかは担当からお答えします。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君）

(38字削除)

あと、支所の建物につきましては、早急に計画等を立てながら、実際、支所の建物をどう管理していくのかは検討させていただきたいと思います。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 税務課長。

○税務課長（光田尚人君） 滞納整理の件につきましても、こういう税収が減るときでございますので、公平を守りながら積極的に努めていきたいとは考えておるんですが、コロナ禍でございますので、猶予の状況もございます。それから、国税から全部猶予を、緩やかな対応ということで国からも下りてくるんですが、具体的にほんならどういうふうにするかというのは、特にこちらのほうの判断ということになりますので、こちらといたしましてはよく状況をお伺いしながら、お一人お一人の状況をしっかりお伺いしながら公平に進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○分科会委員長（佐藤 武君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） ありがとうございます。

市長が言われたように、積極的に独自性を出してやっていただきようと思うんじやけど、今以上にやっていただきてえという気持ちと。

それから、滞納のは誤解があつて、もう緩めちゃれえと言よんでもねえし、積極的に取り上げちゃれえと言よんでもねんじや。僕は、要するにどうなりようかというのをちょっと言いたかったんで、これは税金だけじゃなくて、水道使用料から、皆、全体の話がしたかったんで、ちょっと今思うたんじや。大変申し訳ねえ。

(89字削除)

○分科会委員長（佐藤 武君） それでは、北川委員の_____（5字削除）の質問、答弁は削除するということよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員（北川勝義君） それから、ちょっと待つて。

たばこ税のことを言われて、僕が何か、喫煙者のことを言うたんじやねえ、両方ですから。受動喫煙、そこだけちょっと誤解のないようにお願いします。

○分科会委員長（佐藤 武君） 財務部、ほかになれば、これで質疑を終了したいと……。

○分科会副委員長（大口浩志君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○分科会副委員長（大口浩志君） ちなみにやるんですか。

○分科会委員長（佐藤 武君） いやいや、だからこれを一旦……。

○分科会副委員長（大口浩志君） 終わらせないでください、そしたら。その前に聞いて。

○分科会委員長（佐藤 武君） ああ、ああ。

○分科会副委員長（大口浩志君） どうしますかは。

○分科会委員長（佐藤 武君） どうぞ、言ってください。

○分科会副委員長（大口浩志君） いやいやいや。

○分科会委員長（佐藤 武君） 質疑。

○分科会副委員長（大口浩志君） このまま引き続きでやるのか……。

○分科会委員長（佐藤 武君） はい。12時が来ました。それで、休憩をして、再開を1時にするか、それとも引き続きこのまま行かせていただくか。

このまま行きたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○分科会副委員長（大口浩志君） 庁舎等整備事業の関連なんですけど、6月にたしか1億2,000万円ほど、今回に2億2,000万円ほどで予算が計上されておりますが、ちょっと私自身もうっかりしておりましたけども、いわゆる総事業費、関連費も含む、総事業費という概念でいえば、どれぐらいを想定されとるんでしょうか。例えば、20億円という数字がよく独り歩きをしたと思いますけども、あれは多分建築がらみのお金というふうに理解しなくちゃいけないのかなと思いますけど、一般的には何かに投資するときには、総投資額というような概念を大体報告されて、20億円だったのかなと思ったら、これなんかはその20億円以外の数字だと理解するんですが、総事業費的な、例えば引越し費用であるとか、いろいろなものが想定されると思います。概算で結構なんですけども、どれぐらいを想定されとるんでしょうか。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 戸川課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 先ほど御質問のあった庁舎等整備事業につきましては、20億円という数字がありますが、こちらについては改修の工事費を計上したものでございます。こちらにつきましては、今までの委員会の中でも申し上げているとおり、事業費については極力縮小していくという方向で取り組んでいきますという形にさせていただいております。

今、令和2年度、3年度と予算計上させていただいておるものにつきましては、その20億円の外、全てが外ではございません。その中には、旧消防本部庁舎の改修工事費も入っておりますので、全額が外ではございませんが、実施設計業務で契約しております1億1,000万円などは、完全にその20億円の想定の外ではございます。

今の時点で、総事業費といいますのが、まだ不確かな要素が多いので、ここでの回答は控えさせていただきます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） よろしいですか。

○分科会副委員長（大口浩志君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにありませんか、財務部の関係で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） それでは、財務部関係の歳入歳出予算についての質疑を終わります。

最後になります。

消防についての歳入歳出予算について質疑を受けたいと思います。

永徳委員。

○委員（永徳省二君） 今日配っていただいた消防本部の資料の3ページ、一番下なんですけれども、新しいシステムを更新されるということなんですけど、近隣の導入事例を教えてください。岡山県下で結構です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 答弁をお願いします。

○通信指令室長（納所浩典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 納所室長。

○通信指令室長（納所浩典君） 近隣の消防本部の実績といたしましては、現在、玉野市消防本部、こちらが指令センターを更新中でございます。併せて、津山、真庭、美作といった美消センター、こちらも改修予定になっております。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） よろしいか。

○委員（永徳省二君） はい、大丈夫です。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

北川委員。

○委員（北川勝義君） 3ページの出動手当の絡みというか、非常備消防のことについてお聞きするんですけど。

まずもって、この間も吉井で2件ほど、1件は家火事、1件は山火事があって、1件の家火事は、悲しいかな、死亡されました。しかし、本当に水はけの悪いところで、本当になかなかようやくくれたと思うて。僕は、もうひよっとしたら延焼しとんじゃねえかと思うて、消防本部もそれから非常備のいわゆる消防団、活動してようやくくれて、本当これはもう金一封、感謝でもせにゃあおえんというか、これはもうほんまに感謝しとるあれです。

僕のそこへたまたま、北川君火事じゃというて電話をうちへしてきてくれたのが、警報が鳴る前にしてきてくれて、場所がこの辺じゃと、こう言うて、中勢実の人じゃけ、戸津野のこの辺じゃと言うから、大体勘で分かったんですけど、15分ほどした後ぐらいに、20分ぐらいか、放送したら、そこの第一発見者はその後からいったら、もう1番に行っております。現場へ行って。それから、農協のもおったし、それから僕に電話くれたときには、場所を言わんわけで

す。これはもうはっきり言うて、吉井で、これは仁堀というところで火事があったんで、仁美地区で、吉井の第一方面体とかといっても、場所が分からんです。もう吉井でも、赤坂、どこでもこの辺は道が1本、目の前、永徳委員のそこは見えても、間違うたら下山委員のこの山へ行ってしまうわけです。家が。1本違うたら行くところは。じゃから、やっぱりよう慣れてなかったら分からん。地元でもなかなか分かりにくいというんで。特に、吉井の周匝のほうの方が行ったら分かりにくいんです、場所が。じゃから、できたら行くときに、消防団には教えよんかもしれんですけど、個人情報とかいろいろあるんかもしれんのじゃけど、僕で言うたら、北川宅、北川という名前がおえなんたら、例えばセブンーイレブンでもええです。山ばあのところは分かりにくいんじゃけど、何かちょっとこう言うていただかなんたら行きにくいと思うんです。そういうこと、個人情報のことがあったりするからできんと思うんじゃけど、緊急の場合、今回は延焼を防げたからえかったんじゃけど、これがもう遅かったら、延焼してしまう場合もあるし。

はっきり言うて、本当に前、僕が本部機動部長をしょうるときも、警察来ても、警察は分からんから、僕の後をついてきょうったようなもんで、警察が先に行ったら、行き止まり、邪魔したこともあったり、いろいろなるんで、ちょっとそこらをどう考えとんかなと思うて。

それから、こういうときに出られて、後始末の、本当にすげえと思うんじゃけど、この経費はこのくらいですか。今、たまたまというたら、全体の計画なんじゃけど、出動手当が何か渋りょうたいうのはないんでしょうな。ちょっと今、そのことを思うて、本当感謝しとんですけど、それが1点あります。

それから、もう1点。

消防のことで、いろいろ消防も、トイレがなかった、いろいろあるんで、なかなかお金がかかることじゃけど、地元も出したりするんじゃけど、ぜひそういう非常備消防のこの整備をしてあげてほしいと思うんです。機庫の整備というんですか、トイレとか。なかなかそういう、男でも女でも、例えば、小のほうじゃったらまだええんじゃけど、大になったらやっぱり緊急で下痢しとるとか、もたんというたら、やっぱりいろいろあるんで。ぜひ、そういうことを、家へ帰ってこにゃあおえんとか、よそへ借りに行くようなことはできんのんで、ぜひそういうことをしていただきたいなという要望があって、そういう予算をどこら辺で増やしとんか。例年どおりの予算を組んどんか。全く例年どおりか、ちょっとでも増やしとんじゃとか、減額しとんか、ちょっとそこも教えていただきたいと思います。

それから、それに関して、今もう昨今なくなったんじゃけど、少なくなってきたんですけど、可搬へ入れるガソリン、予備タンクですね。ガソリンを置いとくんです、機庫へ。やっぱりこれはもう皆、消防の方、分かるんじゃけど。それが取られよんです、今、燃料が。うちの消防も取られとんです。よそは鍵をかけとるけど、消防機庫へ鍵をかけるわけにはいかんのんです。消防機庫は、シャッターは閉めとるけど、来たらすぐに乗って出れるようなのが消防、

それが務めじゃから。2回、また隠したんです。奥へ隠して、またタンクを取られて、このぐらいいだけ残る。大抵子供じゃねえかと思うんじゃけど、やっぱりこういうとき、施設をするのに、よそはあるかないか、吉井でちょっとあったんで、鍵をつけたとこまで、この鍵をつけるというのは強制的というんじゃねえ。これを補助申請じゃなくて、そういうことももう踏まえ知っとられると思うんじゃ、情報は。何かそういう施設の整備というか、ロッカーでもええ、燃料だけ入れるとこだけ鍵をつける、ロッカー1個でも据え付けるとか、ロッカーをぶち破ってするのは仕方ねえんじゃけど、ちょっとそこら、何か聞かれとったら、分かれば教えてください。

以上です。

○消防長（井元官史君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 井元消防長。

○消防長（井元官史君） まず、消防団の方には、先般、いろいろ御活躍いただいて、本当に大変感謝しております。

消防団の手当のことですけれども、現在、出し渋るというようなことはまずもってございません。通常、1出動に対しまして1,200円の出動手当を支給させていただいております。これにつきましても、こういう財政上、財源確保も大変なところですけども、ここら辺の見直しも今後進めてまいりたいと考えております。

消防団の機庫のガソリンの件です。

これは、何件か、吉井の案件だけではなく、山陽からもそういう報告をいただいております。少なからずそのお願いをするところといえば、部での適切な管理、何か名案がなかなかないところで、どうやって管理するのかなっていうのは、もう団長を含めまして協議をしているんですけども、明確な、現状では方向性は出せていないのが現状でございます。

あともう1つ、施設の改修等の案件ですけれども、これにありましては、各地区での補助事業の関係となります。区長さん、団員さん等、お話をいただいて、計画等を出していただく中で、緊急性のあるものから順次整備をさせていただいているのが現状でございます。それに関しましては、予算のできる範囲内で今後整備をさせていただきたいと考えております。

私からは以上とさせていただきます。

○通信指令室長（納所浩典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 納所室長。

○通信指令室長（納所浩典君） 先ほど、指令があった場合の発災番地の件についてですが、基本的には御家族の方、もしくは傷病者とかそういった方の避難、消火活動、こういった緊急を要することに関しては番地のお伝えをしております。しかし、今、一般の方については、基本的には番地のほう、お知らせをしていないのが現状でございます。

それから、通報段階でなかなか場所の発災番地が特定できないっていうことが多々ありま

す。そういったことを集計して、最終的に番地が確定した状況になりましたら、今さっき言いました家族の方とか、そういう避難、それから傷病者の活動、そういったことに携わる方に対してはお伝えをしているような状況でございます。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかに。

○分科会副委員長（大口浩志君） はい。

○分科会委員長（佐藤 武君） 大口委員。

○分科会副委員長（大口浩志君） 確認ですが、高機能消防指令センター更新に係り、主なもので結構です。今の指令センターよりこんな機能がプラスされますよというのがあれば教えてください。

○通信指令室長（納所浩典君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 納所室長。

○通信指令室長（納所浩典君） 以前の消防指令センターと何が変わるのかといいますと、基本的には現在の機能を踏襲いたしまして、指令センター全体の機能が新しくなります。操作性や処理時間が向上されます。したがって、受付から現場到着時間までの時間がより短縮されるということが期待されます。また、今回の更新に伴いまして、聴覚や言語機能に障害を持たれた方の緊急通報をスムーズに行うために、スマートフォンを用いて音声言語に頼ることなく通報ができるNet 119緊急通報システムというものが利用できるようになります。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 非常備消防の団員報酬なんじゃけど、これ、減額になっとんじゃけど、閣議決定して、今年は手当が上がるというふうになっとると思うんじゃけど、何でこれ、補正でやるんか、こりゃあ。

○消防長（井元官史君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 井元消防長。

○消防長（井元官史君） 減額補正をした件でございますよね。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） いやいや、国が、非常備消防の団員加入が物すごく減っとるから、増やすために閣議決定をして、団員報酬を上げるということになっとって、今回、予算が通ったら恐らくもう上がるんじゃから、閣議決定しとったら通達が来とんじやないかな。予算組む上で。じゃから、補正でやるのか、ここへ入れなんだ理由を聞きよんじや。

○分科会委員長（佐藤 武君） 井元消防長。

○消防長（井元官史君） 確かに国は、消防団員の報酬、これは国が示す基準がございます。こちらに合わせるように、全国津々浦々、各市町村にこの水準に合わせるようにという通知は来ていますけれども、これはあくまでも国が示す基準と赤磐市の基準が合致しとるわけではございません。10万人当たりの消防団員の数を基準にして国は示しているんですけど、全くそこら辺、赤磐市とはちょっとリンクしません。そういう中でも、国が示す最低基準っていうところで、一般団員の報酬のところは、最低でも1万円を切っている市町村にあっては、1万円以上に上げなさいという指導も来ております。当消防本部では、1万6,000円が団員報酬ですけども——最低のところです——こちらを今後含めましてどうにか上げる方向性で、現在、団長を含めまして、役員の皆様方と研究、検討を重ねているところでございます。しかしながら、そこを全て上げることによって、財源確保、こちらの考えも大事になります。そこら辺を踏まえまして、今後とも積極的に報酬、消防団員の身分、そこら辺を確保できるように今後も検討してまいりたいと考えております。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） そしたら、国が示しとる団員報酬が今年度上がるというのには、対象にならんということか、赤磐市は。

○消防長（井元官史君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 井元消防長。

○消防長（井元官史君） 今年度必ず上がるという形にはならないと、現在は考えております。

以上です。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） いや、そうじゃなしに、なるならんというのは意味が違うんじゃない。国が上がっても赤磐市はその上がる対象にないのかというて聞きよん。

○分科会委員長（佐藤 武君） 井元消防長。

○消防長（井元官史君） 対象は、全ての団員がその基準にのっとしてするようにという、国のそれは指針でございます。現状で、赤磐市がその水準までには至っていない。それまでのその金額に至るまでの取りあえず協議もまだできていないっていったところで御理解をいただければと思います。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 理解がちょっとできんのじゃけど、いや、国が全体の予算を上げるんじゃないから、赤磐市にもその配分は来んのかということ聞きよん。閣議決定したものが来んと

というのがおかしい。じゃけえ、対象じゃないんだったら来んかもしれんけど、今。対象より低いんじゃったらお世話にならにゃあいけんしな。そういうことを聞きよんで。

○消防長（井元官吏君） 委員長。

○分科会委員長（佐藤 武君） 井元消防長。

○消防長（井元官吏君） 交付税として、全体の中で、そういう国が示す基準の部分では入っていると思うんです。具体的にそれが幾ら入っているかっていうのは、消防の部分では分かりません。もうそれが正直なところですよ。国が示す算定基準で交付税には入っていると、そこはそういうものだとは私は理解しております。

○分科会委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 今のところ、うちでは理解できてないということじゃな。国の予算が上がるというのに、全く何にもなしのつぶてという話にはならんと思うんで。

○分科会委員長（佐藤 武君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 消防団員の報酬について、国が閣議決定したというのであれば、国から通達等で標準額等が示されると思います。そういったものを参考にしながら、赤磐市の地域特性も加味しながら、団員報酬というのは見直しを行います。そういう中で、消防団とも協議をしながら、適切に対応ができるようさせていただきますので、よろしく申し上げます。

○委員（下山哲司君） よろしい。

○分科会委員長（佐藤 武君） ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） それじゃあ、以上で消防の歳入歳出予算の質疑を終了いたします。

それと、再確認といえますか、予算書の部分で質疑があればぜひお願いしたいんですけど、確認の意味も含めてお願いしたいと思います。

まず、予算書の228から233ページ。

これについて給与明細書がございます。これは、ぜひ確認をしていただきたいということで、この給与明細書に関わる部分。

それから、234ページから掲載されています債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額、または支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書というものがございます。238ページまで。

それともう1つ、239ページ。

地方債の前々年度末における現在高、並びに前年度末及び当該年度における現在高の見込みに関する調書というものが予算書にございます。

これについての質疑があればお願いします。

○委員（下山哲司君） してみても、ちょっとつつけるもんじゃないんで。

○分科会委員長（佐藤 武君） それじゃあ、もう……。

○委員（下山哲司君） 確認はしとります。

○分科会委員長（佐藤 武君） 確認をしていただいて、質疑はないということで御了解をお願いいたします。

それでは、以上で当分科会の審査は全て終了するという事になります。

なお、委員長報告については委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会委員長（佐藤 武君） それでは、そのようにさせていただきます。

皆様方には、本日は長時間にわたり大変お疲れさまでした。

これで予算審査特別委員会総務分科会を閉会いたします。

午後0時32分 閉会